

学習の習得状況に関する書類(A)

*この欄は学校が記入する。

受検番号		*	
記入日		平成 29 年 1 月 10 日	
ふりがな 氏名	はちのへ こうしろう 八戸 高支郎 昭和 14 年 3 月 6 日生 (平成)	性別 男	ふりがな 記入者氏名
			たいへい ひろし 太平洋
		学校名	〇〇市立〇〇中学校

1 中学校(特別支援学校中学部)での在籍等の状況について

備考欄には、各学年における具体的な学習状況等をお書きください。

	在籍	教育課程	学習形態	備考
中学1年	1 特別支援学校中学部	A 知的障害の教育課程	a 主に個別指導	通常学級に在籍し、一斉授業を受けていたが、冬頃から国語や数学の学習において、つまずきが顕著に見られるようになった。そのため、学級担任による個別の支援を行った。
	2 特別支援学級(知的障害)	B 知的障害以外の教育課程		
	3 特別支援学級(自閉症・情緒障害)	C 学年相応の教育課程	b 主に少人数指導	
	4 その他の特別支援学級()	D 下学年の教育課程		
	5 通常学級	E 知的障害代替の教育課程	c 主に一斉指導	
	F 通常の教育課程			
	G 通級による指導の教育課程			
中学2年	1 特別支援学校中学部	A 知的障害の教育課程	a 主に個別指導	知的障害特別支援学級に在籍し、国語や数学については、下学年の基礎的・基本的内容を中心に少人数で学習した。保健体育、美術、音楽、技術、家庭については、通常学級の生徒と一緒に授業を受けることができた。
	2 特別支援学級(知的障害)	B 知的障害以外の教育課程		
	3 特別支援学級(自閉症・情緒障害)	C 学年相応の教育課程	b 主に少人数指導	
	4 その他の特別支援学級()	D 下学年の教育課程		
	5 通常学級	E 知的障害代替の教育課程	c 主に一斉指導	
	F 通常の教育課程			
	G 通級による指導の教育課程			
中学3年	1 特別支援学校中学部	A 知的障害の教育課程	a 主に個別指導	知的障害特別支援学校中学部において、教科等を合わせた指導を中心とした教育課程を編成し、学習活動を行った。
	2 特別支援学級(知的障害)	B 知的障害以外の教育課程		
	3 特別支援学級(自閉症・情緒障害)	C 学年相応の教育課程	b 主に少人数指導	
	4 その他の特別支援学級()	D 下学年の教育課程		
	5 通常学級	E 知的障害代替の教育課程	c 主に一斉指導	
	F 通常の教育課程			
	G 通級による指導の教育課程			

2 障害の状況について

障害の状況	診断や判定をした機関名	診断や判定をされた期日
自閉症スペクトラム	〇〇クリニック	18 年 5 月 4 日
知的障害を除く、その他の障害の状況について、診断や判定をした医療や公的機関名や期日を書いてください。 日		
上記以外の障害の状況(身体的機能、症状等)		
(例) ・右半身に軽いまひがある。 ・てんかん発作があり、年に1回の受診が必要である。		

3 手帳の有無について

手帳の所持状況を○で囲み、種別や等級、取得期日を忘れずに書いてください。

手帳の種類		
愛護手帳	なし・ あり (A B)	平成 8 年 2 月 4 日
身体障害者手帳	なし ・あり(種 級)	年 月 日
精神障害者保健福祉手帳	なし ・あり(級)	年 月 日

学習の習得状況に関する書類(B)

これまで特に時間を割いて指導してきた項目に、◎又は○をお書きください。通常学級在籍時など、自立活動の指導が行われなかった場合は斜線とします。

今後、指導が必要と思われる課題についてお書きください。

		記入日		平成 29 年 1 月 10 日		
ふりがな	はちのへ こうしろう	性別	ふりがな	たいへい ひろし	学校名	
氏名	八戸 高支郎 <small>昭和 14 年 3 月 6 日生 平成</small>	男	記入者氏名	太平洋	〇〇市立〇〇中学校	
内容	No.	項目	重点指導事項(◎)及び指導事項(○)			評価と課題
			中学1年次	中学2年次	中学3年次	
健康の保持	1	生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。				以前は健康についての意識が低かったが、中学2年になり、歩数計で1日1万歩を目標にしたところ、片道30分の通学路を、歩いて通うことができた。
	2	病気の状態の理解と生活管理に関すること。				
	3	身体各部の状態の理解と養護に関すること。				
	4	健康状態の維持・改善に関すること。		◎	○	
心理的な安定	1	情緒の安定に関すること。			◎	自分がこれまで経験したことのない内容に取り組む際には、極度に緊張し、強い不安を感じる傾向がある。不安を取り除くための支援が必要である。
	2	状況の理解と変化への対応に関すること。			○	
	3	障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。				
人間関係の形成	1	他者とのかかわりの基礎に関すること。		○	○	中学3年4月に転入した際は、自分から進んでクラスメートに話しかけるなど、積極的に他者と関わろうとすることができた。
	2	他者の意図や感情の理解に関すること。				
	3	自己の理解と行動の調整に関すること。				
	4	集団への参加の基礎に関すること。			○	
自立活動 環境の把握	1	保有する感覚の活用に関すること。				/
	2	感覚や認知の特性への対応に関すること。				
	3	感覚の補助及び代行手段の活用に関すること。				
	4	感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握に関すること。				
	5	認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。				
身体の動き	1	姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること。		○		しゃがんだ姿勢を維持するのが苦手である。
	2	姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関すること。			○	
	3	日常生活に必要な基本動作に関すること。				
	4	身体の移動能力に関すること。				
	5	作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること。				
コミュニケーション	1	コミュニケーションの基礎的能力に関すること。		○	○	人と面と向かってコミュニケーションをとることは、あまり得意ではないが、タブレット端末を用いて、自分の気持ちを表現する練習をしている。
	2	言語の受容と表出に関すること。				
	3	言語の形成と活用に関すること。				
	4	コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。			◎	
	5	状況に応じたコミュニケーションに関すること。				

学習の習得状況に関する書類(C)

各項目とも、この4段階の基準に従って、近いもの
いずれか1つに○を付けてください。

*この欄は学校が記入する。

受 検 番 号	*
---------	---

記 入 日	平成 29 年 1 月 10 日
-------	------------------

ふりがな 氏 名	はちのへ 八戸 高支郎	性別	男	ふりがな 記入者氏名	たいへい ひろし 太平 洋	学校名	〇〇市立〇〇中学校
-------------	----------------	----	---	---------------	------------------	-----	-----------

普通科を選んだ場合は、普通科に○をし、
こちらの項目に対して回答してください。

産業科を選んだ場合は、産業科に○をし、
こちらの項目に対して回答してください。

普通科					← 受検を希望するいずれかに○ → ○を付けた側の項目に回答してください。					産業科				
No.	項目	確実に 一人で できる	だいたい 一人で できる	支援により 一人で できる	困難である	No.	項目	確実に 一人で できる	だいたい 一人で できる	支援により 一人で できる	困難である			
1	教師などの説明、友達の話、簡単な放送などを聞いて、内容のあらましが分かる。	○				1	テレビやラジオ、新聞、雑誌などから必要な情報を得る。							
2	簡単なメモを取りながら、指示や説明を聞き取る。			○		2	話し手の意図や気持ちを考えながら、指示や説明などの内容を適切に聞き取る。							
3	人に尋ねられたときは、はっきりと応答する。		○			3	相手や場にふさわしい挨拶や応答をする。							
4	学級会、生徒会などで、自分の意見をみんなに分かるように話す。		○			4	学級会、生徒会などで、人の意見に関連させて、自分の意見を述べる。							
5	必要なときには、丁寧な言葉を使って話す。			○		5	相手に応じて、敬語や言葉遣いを使い分ける。							
6	よく目に触れる標識、看板、立て札、掲示などの意味が分かる。		○			6	標識、看板、広告、立て札、掲示、回覧板などを読んで適切に行動する。							
7	見聞きしたことや経験したことなどについて、できるだけ順序立てて書く。			○		7	経験した事柄を順序立てて、自分の意見や感想を交えながら書く。							
8	簡単な手紙文や日記を書く。	○				8	手紙の目的に応じて、内容を工夫して書く。							
9	よく使われる小学2・3年程度の漢字を書く。		○			9	漢字や片仮名を正しく使って文章を書く。							
10	簡単な加減乗除の意味が分かり、初歩的な計算をする。		○			10	四則計算ができ、生活の中で必要ないろいろな計算をする。							
11	計算機を使って、簡単な計算をする。		○			11	割引や消費税を含んだ買い物などに、計算機を活用する。							
12	長さ、重さ、容積を表す単位が分かり、ものさしやはかりなどの扱いに慣れる。			○		12	生活の中で表示されている単位を理解し、適切な測定用具を選び正しく測定する。							
13	温度計や体温計の数値を読む。				○	13	いろいろな図表やグラフを正しく読んだり書いたりし、生活の中で活用する。							
14	時刻を読んだり、簡単な時間の計算をしたりする。		○			14	時計や暦を使って、予定を立てるなど、生活の中で活用する。							
15	日課表や暦のおおよその仕組みが分かり、日常的に活用する。			○		15	バスや電車などの時刻表を読んで利用する。							
16	買い物などをし、支払いに必要な、簡単なお金の計算をする。			○		16	収入や支出など、金銭に関する事項が分かり、出納帳などを生活の中で活用する。							
17	日常生活に必要な身辺処理を自分でする。			○		17	身だしなみや清潔についての意識をもち、基本的な生活習慣が確立している。							
18	作業に最後まで取り組む。	○				18	作業に積極的に取り組み、最後までやり遂げる。							
19	始業・終業時間が分かり、時間を守って作業をする。		○			19	始業・終業時間が分かり、見通しをもって作業をする。							
20	進んで挨拶や返事をする。		○			20	場に応じた挨拶や返事をする。							
21	作業について質問や終了の報告をする。			○		21	作業について連絡や相談、報告をする。							
22	日常生活に必要な簡単なきまりやマナーが分かり、それらを守って行動する。	○				22	善悪を判断でき、正しい行動をする。							